

会 議 概 要 書	
会 議 の 名 称	令和5年度第2回袋井市国民健康保険運営協議会
担 当 部 課 名	市民生活部保険課
会 議 の 開 催 日 時	令和5年10月19日（木）午後1時30分～午後3時
会 議 の 開 催 場 所	袋井市役所5階第1委員会室
出 席 者	袋井市国民健康保険運営協議会委員 13人 （被保険者代表4人、保険医・薬剤師代表3人、公益代表4人、被用者保険代表2人） 事務局 9人 （市民生活部長、保険課4人、保健予防課2人、納税課1人）
議 題	審議事項 袋井市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）第3期計画及び袋井市国民健康保険特定健康診査等実施計画第4期計画（素案）の概要について 報告事項 産前産後期間の国民健康保険税の軽減について

概 要	
発言者	議事の経過、発言内容等
事務局	1 開会 （定足数の確認） 委員14名中13名の方が出席しているため、袋井市国民健康保険運営協議会規則第5条（委員の半数以上の出席）の規定により、本日の会議は成立していることを報告した。
市民生活部長	2 保険者あいさつ 委員の皆様には、御多忙の中の御出席、また、日頃の市政全般への御理解、御協力に感謝申し上げます。 本日の会議は、国民健康保険保健事業実施計画、いわゆる「データヘルス計画」及び「特定健康診査等実施計画」の次期計画素案について御審議をいただく。これまで、取り組んできた成果や課題、課題解決のための各種施策や目標値等を盛り込んでいる。 来週には、市議会民生文教委員会にお諮りするとともに、来月には、静岡県国保連合会が開催する支援評価委員会に報告し、大学教授など専門の委員の皆様からも助言、指導をいただく予定となっている。 この計画が国保被保険者（約1万6,000人）の皆様への疾病予防と健康増進につながり、末永く幸せに暮らしていただける実効性のある計画にしたい。委員の皆様からの忌憚のない御意見をいただきたい。

概 要	
発言者	議事の経過、発言内容等
会 長	<p>3 会長あいさつ</p> <p>今年は、新型コロナウイルスの影響で中止や縮小となっていた様々な行事が再開される中、今月は市内各所で秋祭りが数年ぶりに通常どおり開催をされるなど、日常が戻りつつある。しかしながら、コロナ感染症は、いまだ終息が見えず、インフルエンザも流行の兆しとなっていることから、今後も感染対策を継続して行っていく必要がある。</p> <p>さて、「データヘルス計画」等の策定については、第1回協議会において、策定スケジュール等が示されたところだが、本日は、令和6年度から令和11年度までの6年間のデータヘルス計画等の素案について説明がある。その内容は、現状の整理、前期計画の考察やデータ分析、今期の目標など、多岐にわたっているが、それぞれの立場から、委員の皆様にご意見をいただきたい。</p>
事務局	<p>4 議事</p> <p>事務局から審議事項について説明</p>
委員	<p>(冊子23ページ) 「(4)生活習慣病予防のための啓発 ウ 日常的な運動習慣の定着のための啓発」について、自前では難しい場合、外部業者への委託や既存サービスを紹介することはあるか。</p>
事務局	<p>現時点では外部に委託はしていない。既存サービスの紹介については、市が作成した運動のプログラム、市が開催している筋トレ教室、地域の運動教室(袋井健康教室)を紹介している。また、被保険者は、65歳以上の方が多いことから、地域の公会堂などで行っている、でんでん体操なども紹介している。そのほか、対象者によっては、さわやかアリーナ、風見の丘、月見の里学遊館、エコパなどの市内運動施設を紹介している。</p>
委員	<p>データヘルス計画では、特定健診の受診率が低いことが大きな課題となっているが、特に低い(下がっている)年齢層はあるのか。それとも、どの年齢層も同じように上がらないのか。それによって対策が変わってくると思う。</p>
事務局	<p>(冊子34ページ) 「男女・年齢階層別の特定健診受診状況」をご覧くださいと、男女別、各年齢層別に、令和元年度と令和4年度の受診率を比較したグラフとなっている。色付けした部分が受診者であるが、どの年齢層もまんべんなく低い状況となっている。</p>
委員	<p>受診率に関連して、若い世代の受診率が低いということが課題としてあると思うが、若い方は、自分が病気を抱えているという認識が高齢の方よりも低いと思う。今後もこういう状況がずっと続く場合には、若い人の受診率を上げる対策をどのように考えているのか。</p>

概 要	
発言者	議事の経過、発言内容等
事務局	<p>若い方の受診率を上げる対策について、目標を達成するための戦略として、特定健診受診時の自己負担金の見直しを検討している。本市は近隣と比較しても自己負担金が若干高いことから軽減を検討している。</p> <p>また、国民健康保険加入の手続の際に、市役所や支所の窓口で積極的にPRを行い、受診率の向上を目指していきたい。</p>
委員	<p>生活習慣病予防のための啓発として、飲酒についての啓発も必要ではないか。過度な飲酒が続くと、肥満や高血圧、ひいては脳血管障害や心筋梗塞を引き起こすことにもつながってくるので、過度にならないような指導も、生活習慣病予防の啓発の取り組みに入れていくべきではないか。禁煙などと同じように重点を置いて取り組んだらどうか。</p>
事務局	<p>特定保健指導に限らず、保健指導を受けていただいている方には、食生活ということで、お酒も含めて摂取量などを伺っている。現状では、広くアルコールのことを伝えることは、活発に行っていない。今後、アルコールも含めて、糖尿病予防という視点での話もできるように準備をしていきたい。</p>
委員	<p>高齢の方は、若い方に比べて受診する方は多いが、年々減少している。高齢者は、持病を抱えている方も多く、定期的な受診で特定健診の項目を検査をしていることから、あえて特定健診を受ける状況にならないのではないかな。</p> <p>総合健診が再開して、特定健診とがん検診が同日にできるようになったが、胃がん検診はバリウム検査だが、バリウムがづらい方もいるので、集団検診では難しいかもしれないが、かかりつけ医の特定健診で、少し負担金があっても、胃カメラ検査ができるようにするとか、特定健診の中身を少し考えていただけると、受診する方も増えるのではないかな。被保険者の方がどういう検査を受けたいのか、ニーズを捉えて、受診率向上の取組を進めていただきたい。</p>
事務局	<p>御意見につきましては今後の検討とさせていただきます。</p>
委員	<p>特定健診の受診は、対象者の判断によるので、受診率が低いところは仕方ないところもある。事業者は、労働安全衛生法により従業員に受診させる義務があるが、市の場合は、市民に義務がないので、そこがネックだと思う。病気に対して意識のない方たちにどうやって受診してもらうかが課題と考える。</p> <p>受診しない理由の一つに費用の問題もあるかと思う。健康保健組合の事例では、一人あたりの保健事業費は年間16,000円ぐらいで、袋井市は6,000円ぐらいかと思う。市の予算が大きく関係してくるため、費用対効果ということになるが、短期的には合わないと思うが、中期的に見れば必ず合ってくると思う。これだけ前向きに保健事業をされているので、費用を見直して受診者を増やすことができれば、かなり有効ではないかな。</p>

概 要	
発言者	議事の経過、発言内容等
事務局	委員の御指摘のとおり、病気への意識のあり方、人間ドックや特定健診にどうやって意識を向けるかが大きな課題だと考えている。特定健診を受けた方と受けていない方の医療費を比べても、受けてないの方が高い傾向があるので、そのあたりと費用対効果も研究しながら、受診していただけるようPRをしていければと考えている。
委員	4月頃に市から電話がかかってきて、体調のことを聞かれたり、運動を勧められたりした。こういうシステムがあることを正直知らなかったので、ありがたいシステムだと感謝している。市民に広報や周知はどれだけされているのかと感じた。 健康診断を受けるにあたって、食事を抜いたり、バリウムを飲んだりがあって、行きたくないと思うところもある。だれもがすぐに受けやすい血圧や腹囲の測定、生活習慣のアンケートにするとか、アンケートの回答で心配な方を確実に拾いあげていくシステムがあってもいいなと感じた。
委員	保健指導を受けて、体操を教えてもらい、運動することによって体重が減ることを実感した。 持病があって定期的に病院へ受診し、薬も飲んでるので検診はやめようと思っていたが、受診することで、他の病気が見つかる場合もあるので、やはり受診したいと思う。
委員	(概要3ページ)「目標Ⅱ 糖尿病要医療者の減少」では、着実に要医療者が減少してきているが、概要4ページでは、腎不全で受診されている方の割合が上昇してきている。糖尿病と腎不全は表裏一体だと思うが、糖尿病が減っているのに腎不全が増えているのはどのような理由があるのか。
事務局	目標Ⅱの糖尿病要医療者は、あくまでも検診を受けていらっしゃる方のヘモグロビンA1cの6.5%以上の方の割合で、減少している状況である。 目標Ⅳの新規人工透析導入者は、前期計画からほぼ横ばいとなっている。これについては、病状によっては、仕事ができなくなり、国保に加入してすぐに透析導入となる方もあることから、腎不全や医療費の増加につながっているのではないかと考えられる。 国保における新規人工透析導入者の減少に向けての対策としては、加入してからしばらく経過した方が、なかなか透析に移らないよう対策を取っていきたいと考えている。
委員	毎年健診を受けているが、2年連続で受けないと通知が来なくなるということを知ったことがあるが、いかがか。 自分で病院に行って検査をすることがなかなかできないので、健診を義務化ぐらいにしたほうがいいと思っている。

概 要	
発言者	議事の経過、発言内容等
事務局	<p>がん検診は、前年度に受診していないと通知が送られないことになっており、受けたい場合には、市へ連絡をいただいて発送している。ただ、受診率が年々下がっているのも、今年度は、昨年度受診していない方にも、追加で発送している。</p> <p>なお、特定検診については、該当の方に毎年送付している。</p>
委員	<p>健康保健組合でも、勤めている方は義務があって定期健診で受診しているが、その方の配偶者に受けてもらうため、受けていない方に電話連絡すると、通院しているから受けないというケースも少なくない。実体験のお話を聴けて納得した。</p>
事務局	事務局から報告事項について説明
委員	(質疑なし)
	(全ての議事が終了)
事務局	<p>5 その他</p> <p>事務局から事務連絡</p>
事務局	6 閉会